

5月20日 東ティモールの歴史

5月20日は、東ティモールの「独立回復の日」。東ティモールは、かつてポルトガルの植民地でした。1975年に独立を宣言しましたが、その直後にインドネシアの支配下に置かれました。その後、多くの

人々が独立を願い、住民投票をした結果2002年5月20日に正式に独立しました。「国が自由を取り戻した日」



として大切に
されています。

街や学校でも
国旗が掲げ
られ、ダンスを
踊って一緒に
お祝いしました。

伝統的な衣装

東ティモールの伝統的な布「タイス」を使って作られた服が、この国の伝統的な衣装です。お祝い事や伝統行事のときによく着られています。色鮮やかで華やかな衣装から、この国の文化を感じますね。



Question ! !

★これらのタイスの服は いくらくらいするのでしょうか？

① 500円

② 5,000円

③ 数万円することもある

③ : ええ、数万円することもある(手織りで作られたタイスは数万円します)

スポーツは世界共通



先日行われた小さな
大会で優勝しました！



私は東ティモールのフットサルチームに所属しています。言葉の壁を感じることもありますが、スポーツでは自然と心が通じ合います。東ティモールではサッカーやフットサルがとても人気で、子どもから大人まで、プレイヤーも観客も一緒になって楽しめます。



日本と東ティモールをつなぐ活動

★日本語うたコンテスト



東ティモールには日本語を学んでいる多くの日本語学習者がいます！日本語を教える隊員を中心に結成された「日本語分科会」では、学習者に日本をもっと好きになってもらい、日本語学習への意欲を高めようするため、様々なイベントを開催しています。

★日本食を通じた交流



日本語を教えている東ティモールの先生たちと一緒に、おにぎり と だんご を販売しました！！

Question！！

★東ティモールの日本語学習者が日本語を学ぶ理由は何でしょう？

- ① 日本文化が好き ② 日本で働いたり勉強したりしたい ③ 日本人と交流したい